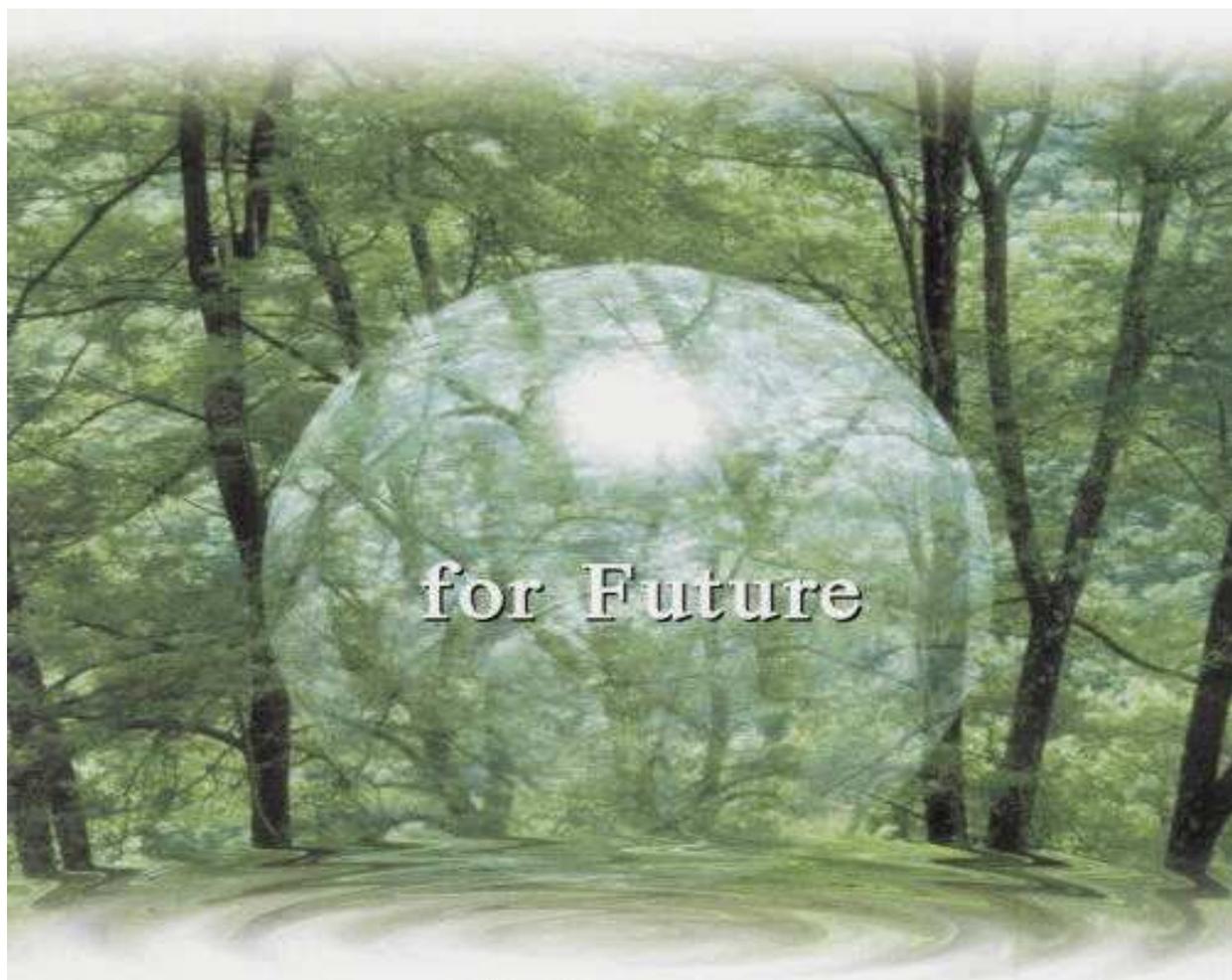


エコアクション 21

# 環境経営レポート

令和5年度（令和5年4月～令和6年3月）



 株式会社 極東製作所

作成日：令和6年6月17日

# 1. 組織の概要

## ① 事業所名及び代表者氏名

株式会社 極東製作所  
代表取締役社長 梶山秀樹

## ② 所在地

〒800-0115  
北九州市門司区新門司3丁目42番地

## ③ 環境管理責任者氏名及び担当者氏名連絡先

環境管理責任者 山口仁人 (製造部製造課長)  
担当者 事務局 立石剛敦  
TEL: 093-481-2838  
FAX: 093-481-1952  
E-mail: [product@kyokutov.ecnet.jp](mailto:product@kyokutov.ecnet.jp)  
URL: <http://www.kyokutov@ecnet.jp>

## ④ 事業活動内容

バルブの設計・製作及びメンテナンス

## ⑤ 事業年度

4月1日～翌年3月31日

## ⑥ 事業規模

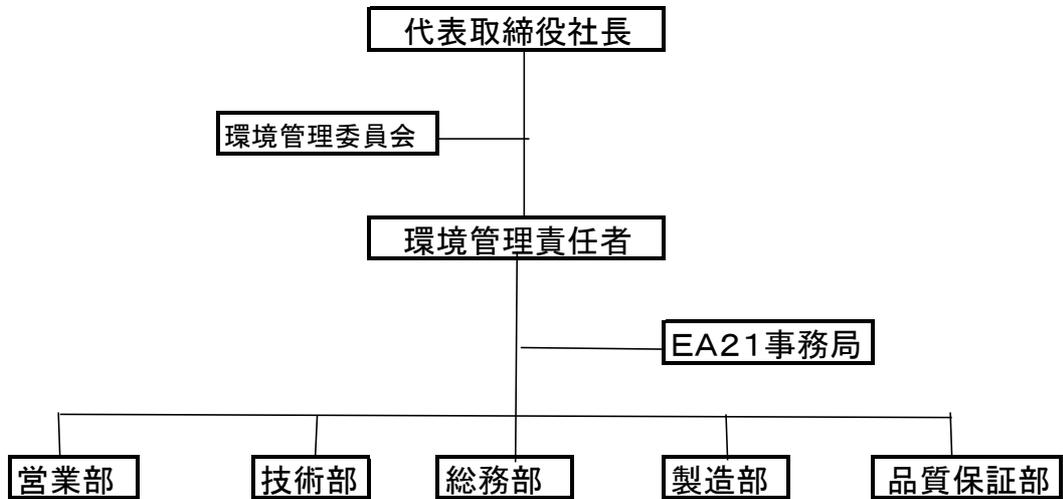
	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
売上高	千万円	103.9	121.4	109.9
従業員数	人	54	54	55
床面積	m <sup>2</sup>	2406	2406	2406

## ⑦ 認証・登録範囲

全組織・全活動・全従業員

⑧ 実施体制

EA21実施体制



役割分担表

所属	役割・責任・権限・使命
代表者	全体の統括、経営における課題とチャンスを整理・明確化 環境方針の設定、実施体制の構築、環境への取り組みを 実施する為の資源の準備、全体の評価と見直し
環境管理責任者	全体の把握／環境経営システムを構築し運用し、その 状況を社長に報告する
環境管理委員会	1ヶ月に1回開催し、環境目標の達成状況及び活動計画 の実行状況を審議する
EA21事務局	EA21文書及び記録類の作成・維持・管理
総務部	電力、水、車燃料(ガソリン、軽油)灯油消費量管理
製造部	廃棄物の廃棄量管理、マニユフェストの適正管理

## 2. 環境経営方針

### 環境経営方針

#### 基本理念

株式会社極東製作所は、オーダーメイドのバルブ専門メーカーとして、国内外の産業発展に寄与しています。地球的規模での自然環境の保全に当社の企業活動のあらゆる方向で貢献します。

#### 行動指針

1. エネルギー消費の削減、特に電力使用量の削減を図り、地球温暖化防止に努めます。
2. 資源である水の有効利用を推進するため、節水に努め、水使用量の削減に努めます。
3. 省エネ、小形軽量化、部品点数の削減等環境に配慮した製品開発を推進します。
4. 産業廃棄物の適正処理及び排出削減に努め、再資源化を推進し、資源の有効活用に努めます。
5. 積極的にグリーン購入に努めます。
6. 国、地方自治体などの環境に関連する法規制及び当社が同意したその他の要求事項を順守することはもとより自主管理基準を設定して、継続的に汚染の防止に努めます。
7. 環境教育・訓練、社内広報活動の実施により、全ての従業員に環境方針を周知徹底すると共に、環境保全に関する意識を高め、社内における環境保全状況の知識・認識の向上を図ります。
8. 事業活動における環境への影響を低減させるため、環境への配慮を行うための目標を明らかにするとともに、これに基づく取組をPDCAサイクルの繰り返しにより継続的な改善に取り組みます。

令和6年4月1日 改訂

株式会社極東製作所  
代表取締役社長

椋山 秀樹

### 3. 環境目標とその実績

#### 3. 1 令和5年度環境経営目標

前年度を基準年度とし、令和5年度の目標（1%削減）は以下の通りである。

環境経営目標		単位	4年度 実績	5年度 目標
①	二酸化炭素排出量 削減	kg-CO2	93,020.67	92,090.46
	電気使用量の 削減	kWh	191,829.00	189,910.7
	灯油使用量の 削減	L	4,168.00	4,126.3
	ガソリン・軽油 使用量の削減	L	6,377.46	6,313.7
②	水の総排出量の 削減	m3	788.0	780.12
③	金属くず排出量の 削減	t	24.96	24.71
④	紙の使用量の削減	kg	1,581.30	1,565.49
⑤	グリーン購入	件数	随時	随時

#### 3. 2 令和6年度以降の目標

翌年の目標値は前年の実績値の1%削減値とする。

環境経営目標		単位	5年度 実績	6年度 目標 (前年度実績 の1%削減)	7年度 目標 (前年度実績 の1%削減)	8年度 目標 (前年度実績 の1%削減)
①	二酸化炭素排出量 削減	kg-CO2	105,512.18	104,457.1	—	—
	電気使用量の 削減	kWh	228,861.00	226,572.4	—	—
	灯油使用量の 削減	L	3,569.00	3,533.3	—	—
	ガソリン・軽油 使用量の削減	L	6,854.56	6,786.0	—	—
②	水の総排出量の 削減	m3	806.0	797.9	—	—
③	金属くず排出量の 削減	t	33.97	33.6	—	—
④	紙の使用量の削減	kg	815.85	807.69	—	—
⑤	グリーン購入	件数	随時	随時	随時	随時

備考：※CO2 排出係数(九州電力)平成30年度0.347（調整後排出係数使用）

## 4. 主要な環境活動計画の内容

### 1. 二酸化炭素排出量削減のための取組

#### (1) 電気使用量の削減

- ①エアコン設定温度冬季23℃以下、夏季26℃以上の実行
- ②電灯のこまめな消灯
- ③休憩時間及び作業終了後のコンプレッサの電源切

#### (2) 灯油使用量の削減

- ①温度15℃以上はストーブを消す

#### (3) ガソリン／軽油燃料使用量の削減

- ①輸送の合理化・輸送方法の検討

### 2. 水の総排出量の削減

#### (1) 試験水の削減

- ①油水分離装置の状況確認及び油の除去
- ②組立不良率削減

### 3. 廃棄物排出量の削減

加工しろの削減及び不良品の削減

- ①材料の切断不良の撲滅
- ②部品減肉、部品点数削減
- ③組立時における不良の削減（5件 / 年以下）
- ④加工時における不良の削減（30件 / 年以下）
- ⑤設計ミスによる設計変更の発行件数の削減

### 4. 紙の使用量の削減

#### (1) コピー使用量の削減

- ①コピー用紙の再利用及び削減
- ②提出資料の電子化（PDF化等）の促進

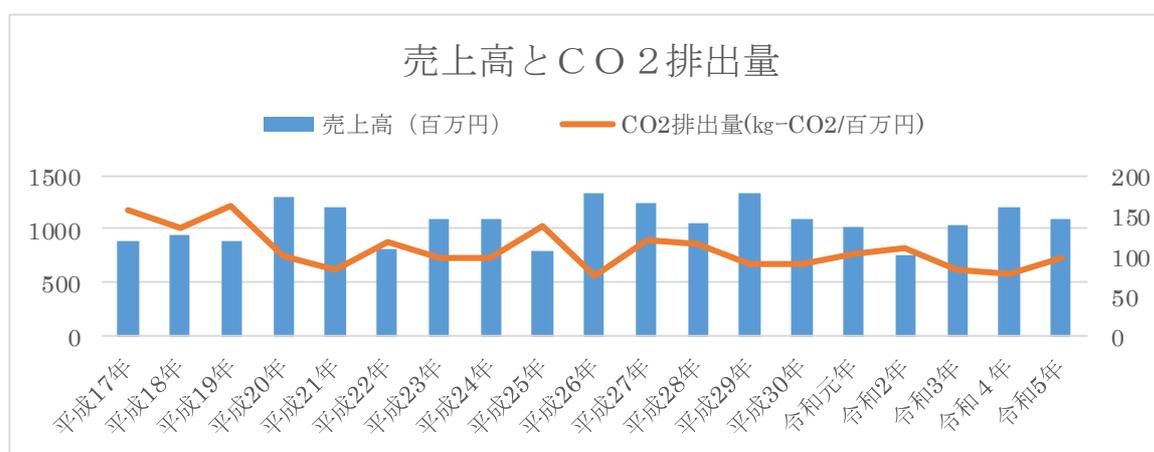
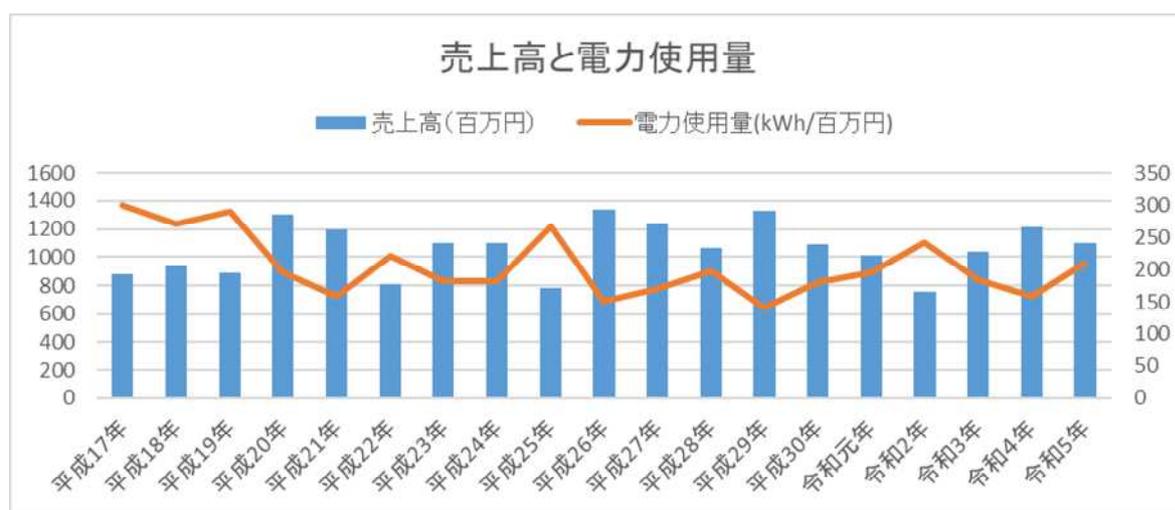
### 5. グリーン購入

- ①文房具購入時グリーンマーク付購入を行う。

※ 今年度計画については、前年度より引き続きとする。

## 5. 平成17年～令和5年度売上と各使用量

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
売上高(百万円)	879	944	890	1300	1200	810	1100	1100	786	1339	1240	1062	1333	1089	1015	759	1039	1214	1099
電力使用量(kWh/百万円)	299	270	290	196	158	220	181	181	267	150	171	197	140	180	196	243	185	158	208
灯油(L/百万円)	9.7	6.5	6.8	5.2	4.2	7	5.6	5.6	6.3	3.8	4.1	2.8	4.4	2.7	4.1	4.3	2.6	3.46	3.2
LPG(kg/百万円)	0.38	0.19	0.19	0.1	0.21	0.32	0.23	0.23	0.13	0.06	0.07	0.07	0.06	0.23	0.08	0.1	0.06	0.11	0.05
ガソリン(L/百万円)	2.8	2.8	1.7	1.5	1.77	2.72	2.13	2.13	2.64	1.34	1.04	2.95	2.1	3.97	2.46	2.18	2.01	2.4	2.28
軽油(L/百万円)	4.3	3.2	3.8	3.1	2.9	3.6	3.88	3.88	5.58	2.61	2.34	3.28	2.77	2.01	5.34	3.28	2.61	2.85	3.96
水(m <sup>3</sup> /百万円)	1.2	1	1.2	0.8	1.07	1.49	1.05	1.05	1.35	0.69	0.7	0.73	0.61	1.27	0.83	1.08	0.71	0.65	0.73
コピー用紙(百万円)	1.1	1	1	0.8	0.7	0.95	0.85	0.85	1.61	0.53	0.86	1.15	0.94	0.97	1.1	1.03	1.61	1.3	0.74
産廃(t/百万円)金属くず	0.05	0.03	0.06	0.04	0.03	0.06	0.01	0.01	0.09	0.04	0.05	0.03	0.09	0.03	0.06	0.07	0.04	0.03	0.03
CO2排出量(kg-CO2/百万円)	156	134	162	99	82.7	118	98.4	98.4	137	75.7	119	114	90.8	90.6	102	109	81.4	76.6	96





## 6. 環境活動の取組結果の評価

	目標	単位	5年度 目標	5年度 実績	削減率
①	二酸化炭素排出量 削減	kg-CO2	92,090.46	105,512.18	14.5%増
	電気使用量の 削減	kWh	189,910.7	228,861.0	20.5%増
	灯油使用量の 削減	L	4,126.3	3,569.0	13.5%減
	ガソリン・軽油 使用量の削減	L	6,313.69	6,854.56	8.5%増
②	水の総排出量の 削減	m <sup>3</sup>	780.12	806.0	3.3%増
②	金属くず排出量の 削減	t	24.71	33.97	37.5%増
④	紙の使用量の削減	kg	1,565.49	815.85	47.8%減
⑤	グリーン購入	件数	随時	随時	随時

### 評価

#### 6.1 二酸化炭素排出量の削減

売上は 1099 百万と昨年度比で約 9.5%減少したが、電気使用量の増加は 20.5%で、二酸化炭素排出量は 14.5%増加である。来季の仕事量が多いために前倒しで、製造を進めているためであろう。灯油使用量は 13.5%減少している。灯油ストーブが減少し、遠赤外線ヒーターに切り替えているためだと思われる。(電気使用量の増加要因です)自動車燃料は 8.5%増加している。仕事量が増えて外注への払出、引取が増加している。

#### 6.2 水の総排出量の削減

水の使用量は 3.3%微増。

#### 6.3 廃棄物排出量の削減

金属くず、木くず等については、増加している。

#### 6.4 紙の使用量の削減

紙の使用量は大幅に減少している。

#### 6.5 グリーン購入

常時購入の文房具については積極的にグリーンマークのついたものを引き続き購入します。

※ その他・・・環境に配慮した製品づくりを日々心がけて

活動しています。

## 7. 次年度取組内容

### 7-1.二酸化炭素排出量の削減

電気使用量の削減

- ① エアコン設定温度
- ② 電灯のこまめな消灯
- ③ コンプレッサ電源切り
- ④ 作業の効率化／働き方改革による残業抑制

灯油使用量の削減

ストーブ着火温度の管理

ガソリン／軽油燃料代の削減

輸送の合理化・輸送方法の検討

### 7-2.総排水量の削減

排水処理の改善

- ① 油水分離装置の状況確認
- ② 組立不良率削減

### 7-3.廃棄物排出量の削減

- ① 材料の切断不良の撲滅
- ② 部品減肉、点数削減他技術的改善
- ③ 組立時不良削減
- ④ 加工時不良削減
- ⑤ 設計ミスによる設計変更発行件数の削減

### 7-4.紙の使用量の削減

コピー用紙の再利用及び削減

### 7-5.グリーン購入

消耗品購入時のグリーン購入促進

## 8. 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無

当社に適用される環境関連法規等（廃棄物の処理及び清掃に関する法律、消防法、騒音規制法等）の遵守状況を確認した結果、過去 3 年間違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟等はありませんでした。

## 9. 代表者による評価と見直し・指示

工場の残業時間が増加している。昨年比で売り上げが約9.5%減少したが電気使用量は20.5%の増加である。二酸化炭素排出量の約75%を占めており、引き続き電気使用量の削減策を検討したい。自動車燃料の使用量はガソリンが減少し、軽油は増加した。灯油使用量は遠赤外線ヒーターに切換えため減少している。電気使用量の増加につながる残業時間の抑制は引き続き指示した。

## 10. その他

地熱発電所に設置、使用されるバルブを日本全国（北海道から鹿児島）に提供して、再生可能エネルギーを利用した発電に貢献しています。

同様に、海外の地熱発電所にバルブを提供しています。

